



研究部だより

平成30年11月号
事務職員会研究部

校庭の木々が色づき、秋を感じる時期となりました。朝晩もだいぶ涼しくなってきましたので、くれぐれも体調を崩さないようお気をつけください。

事務職員会 全体会

10月11日(木)に事務職員会全体会が開催され、研究部からの提案及びグループワーク等が行われました。

～基調提案～

グランドデザインは、静岡市公立小中学校事務職員会の中・長期的な全体構想を表すものです。学校事務職員が何を目指して、どこに進むのかを全員で共有するため、平成26年度に策定されました。事務職員会では、「子どもの豊かな育ち」の実現を学校事務職員のミッションと考えています。このミッションを実現するために、「教育の質を高める教育事務を創造する」を研究テーマとし、グランドデザイン活動プランにより研究活動を行っています。

今年度の活動プランは「学校評価」です。ここで事務職員が学校評価に関わることの重要性について共通理解を図り、事務職員全員が学校評価へさらに一步踏み込めることを願っています。

現在の活動プランは平成31年度まで作成されています。研究部では、現在事務職員会の研究の方向性及び具体的な研究内容について検討し、次の活動プランを作成しています。



～今年度の活動プラン「学校評価」について～

「学校評価」とは？

文部科学省のホームページによると、「学校評価は子どもたちがより良い教育を享受できるよう、その教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すための取組」とあります。

研究部では、学校評価書に加え行事ごとの反省評価、毎月の安全点検、日常における振り返りや反省評価も学校評価であると考えました。

学校評価における事務職員の関わりとは？

- ・直接関わっていないと思っている項目でも、事務職員の視点で学校の様子を把握し、学校経営、特に財務の面から提案することができる
- ・行政的視点を織り交ぜることで、先生方が考慮しづらい視点や価値観を加えることができる
- ・普段の何気ないコミュニケーションの中でも、ヒントや気づきなどから、活用度や費用対効果などの学校予算の視点や経営的視点で反省評価をすることができる



私たち事務職員が学校評価に関わることで、教育評価中心の学校評価に行政職員として予算面や経営面などの新たな価値観を加え、バランスよく検証することができます。また、学校評価によって実態を正確に把握することで、的確な予算配分や効果的な条件整備を可能にします。これらにより、評価と改善の好循環を促進し、教育の質の向上を図ることで、子どもの豊かな育ちの実現をめざしていきます。

～グループワークの意見紹介～

グループワークでは支部以外の方々と交流でき、いつもと少し違った新鮮な話し合いとなったのではないのでしょうか。当日の記録からいくつか紹介させていただきます。

①学校評価書による事務職員の関わりはどんなことが考えられるか？

- ・「学校事務」という項目を設けてもらい、出された意見をもとに学年費の検討などを行った。
- ・中間評価を行っている学校もある。
- ・異動してきた年は特に気になる点が多いため、可能な限り事務以外の部分も評価している。
- ・ヒト・モノ・カネの視点で評価書を見ている。
- ・研修の項目は旅費とも関わってくるので、予算立ての際に考慮する。
- ・評価書を通して学校の現状や保護者の考え、地域について知ることができる。事務が関われるところにマーカーをし、次年度の計画に活かす。自由記述で書いてくれた内容を見逃さない。
- ・日々の集大成が評価書であり、評価書が起案されたときだけの確認にとどまってはいけない。表現や行事、危険性を察知することが大切である。毎日の起案文書への関わりを積み重ねることなどが、学校評価書につながっている。さらに学校評価書の内容を理解し、起案文書への関わりに活かすことも大切である。
- ・評価したことを改善につなげることが大切で、評価という言葉にとらわれない。
- ・本日の発表を聞いてもっと関わりを持とうと思った。



②学校評価書以外でも評価できること、関われることは？

- ・行事ごと記録を残し、次年度へ引き継ぐことが大切で、これが反省、評価につながる。
- ・備品整理などの時にアンケートをとり、校内にある備品の周知と有効活用に向けた改善に活かす。
- ・安全点検では、教頭、用務員と現場確認を行うことで、気づくことが多い。
- ・日常の中に改善のきっかけがある。書面だけではなく職員とのコミュニケーションの中から、今まで個人では気づかなかつたり、見落としていた内容を拾い、課題解決につなげることもできる。自ら視野を広げ、日常の変化に対する気付きを養うことを意識し、日々取り組む積み重ねが大切である。
- ・修学旅行の業者選定や旅行者との打ち合わせに参加し、事務職員の視点で助言する。
- ・年度当初の予算委員会では旅費や市費等の予算計画を検討し、総務会や主任会で予算執行の随時確認を行うことで、節約啓発や無駄のない予算執行につながる。
- ・何にでも関わっていい。関わって悪いことはない。



学校財務ウィーク2018 平成30年11月1日(木)～11月7日(水)

各学校の状況に応じて、積極的な取り組みをしてみましょう。

また、年度途中の予算の執行計画の見直しや来年度への改善提案等、この機会に事務室から情報発信をしていきましょう。



学校事務実践レポートの募集 ～たくさんの応募お待ちしております～

全事研では、みなさんの実践事例を募集しています。財務の実践に限らず、日頃の取り組みや初めて挑戦したこと…等々、事務に関するどんな実践でも構いません！！

11月14日(水)までに S.kom にて番町小学校までご提出ください。

